

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	佐賀県・佐賀市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	佐賀市文化財総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 35 年度 5年以内としてください。		
5 実施計画の概要			
<p>(背景・目的) 佐賀市には、国、県、市指定の無形民俗文化財が12行事（保存会別では14団体）あり、佐賀市歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致を形成する重要な要素の一つとされ、これまでも保存継承のため、財政支援や保存会代表者会の開催により情報共有や意見交換の場を設けてきたが、少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化により、指導者や担い手不足が顕著であり、本来の祭りや行事のあり方、芸能の所作などの継承が困難になるとともに、今後の存続さえも危ぶまれる状況になっている。</p> <p>そこで、従来の支援策に加え以下の取組みを実施することで、無形民俗文化財の幅広い普及啓発を図るとともに将来への保存継承につなげる。</p> <p>(事業内容) 1 無形民俗文化財の映像記録作成（近年映像記録を作成した2件を除く12件） 継承用：準備から本番、片付けまでの流れを映像で記録し、継承のために各保存会を中心に活用する。 普及用：各地域の無形民俗文化財を広く情報発信するため、継承用映像の短縮版を作成し、HPや公共施設等での公開、保存会の普及活動等にも活用する。 ※本事業については、第二次佐賀市文化振興基本計画の重点事業としても掲げている。</p>			
6 実施体制			
<ul style="list-style-type: none"> 本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、佐賀市教育委員会文化振興課が行う。 補助事業の実施及び書類、成果物の管理は次の団体が実施し、実施期間終了後は、佐賀市に継承する。 佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会（会長 西原清純） 構成団体：無形民俗文化財の保存会11団体（11行事） <p>(評価体制) 本計画の成果については、毎年度指標の目標達成状況などを見ながら、実行委員会で検証を行い、次年度計画の改善につなげる。また、佐賀市文化振興基本計画の進捗状況や方向性を点検する「佐賀市文化振興基本計画推進懇話会（有識者等8名）」に報告し、次期文化振興基本計画や、現在、本市で検討中である無形民俗文化財の支援のあり方の見直しにも反映させる。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 0 千円	平成31年度要望額： 2,420 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本市では、国指定重要無形民俗文化財「見島のカセドリ」が「来訪神：仮面、仮装の神々」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、無形民俗文化財への市民の関心が高まっている。この機会を利用し、他の無形民俗文化財についても、広く情報発信を行うことで、市民の理解や関心が高まり、協力者が増えることや、各保存会で無形民俗文化財の保存継承を担う人たちの保存継承に対する責任感やモチベーションの向上が期待される。また、各地域でこれらの無形民俗文化財を地域固有の文化として、まちづくりに生かしていこうという機運が高まることが想定され、本事業で培われる行政と保存会、地域住民の連携・協力体制が生かされる可能性がある。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	本市補助金を活用し、本事業に係る経費の一部を実行委員会に補助する予定である。		
事業概要：	指定無形民俗文化財の保存会等へ支援を行う「佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金」（既存事業）を活用し、今回作成する映像記録を使った普及啓発活動を各保存会で行ってもらう予定である。		
事業概要：	本市の指定無形民俗文化財の代表者が一堂に会する「指定無形民俗文化財保存会代表者会議」（既存事業）を開催し、計画終了後も各保存会の課題などを共有し合う。		

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

- ・佐賀市歴史的風致維持向上計画（平成24年度策定、計画期間：平成24年度～平成33年度）
<https://www.city.saga.lg.jp/main/1917.html>
- ・第二次佐賀市文化振興基本計画（平成28年度策定 計画期間：平成29年度～平成32年度）
第三次佐賀市文化振興基本計画の策定作業を平成31年度から開始予定。
<https://www.city.saga.lg.jp/main/38299.html>

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	佐賀市教育委員会文化振興課
-----------------	---------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	祭礼行事本番の見学者数	関連事業:		①		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 5,100 人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 5,500 人					
設定根拠 1 :	各行事の性質を考慮し、伸び率を若干増に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	各保存会の会員数	関連事業:		①		
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 455 人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 455 人					
設定根拠 2 :	佐賀市の人口推移の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	佐賀市教育政策市民満足度調査の「文化財は適切に保存・活用されていると思う」市民の割合	関連事業:		①		
目標値 3 :	【現状値】 平成 30 年度 43.2 % ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 44.2 %					
設定根拠 3 :	過去の伸び率を参照し、横ばい、微減傾向であることから、毎年の伸び率を0.2%と設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	佐賀市民意向調査の「佐賀市の歴史・文化・景観に愛着を感じる」市民の割合	関連事業:		①		
目標値 4 :	【現状値】 平成 30 年度 14.2 % ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 15.7 %					
設定根拠 4 :	過去の伸び率を参照し、横ばい、微増傾向であることから、毎年の伸び率を0.3%と設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
%	%	%	%	%	%	

目標区分 5 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 5 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	佐賀市民意向調査の「祭りや子ども会などの地域の行事に参加している」市民の割合			関連事業:	①	
目標値 5 :	【現状値】 平成 30 年度 39.9 % ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 53.0 %					
設定根拠 5 :	第2次佐賀市総合計画の目標値					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
%	%	%	%	%	%	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	佐賀市文化財総合活用推進事業				実施団体：	佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会	
事業区分：	記録作成			事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 35 年度		
事業概要：	<p>無形民俗文化財の将来への保存継承のために、継承用・普及用の映像記録を作成する。 国、県、市指定の無形民俗文化財のうち、映像記録のない 11 件を対象とし 5 年間で順次作成する。 継承用：準備から本番、片付けまでの流れを映像で記録し、継承のために各保存会を中心に活用する。 普及用：各地域の無形民俗文化財を広く情報発信するため、継承用映像の短縮版を作成し、HP や市立図書館、公民館等の公共施設等での公開、保存会が行う普及活動等にも活用する。</p>						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	各保存会の会員数						
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 455 人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 455 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度		
人	人	人	人	人	人		